

# 総合内科・総合診療科における専攻医研修計画の設定と評価

## ～探索的調査から Activity Theory を用いた実践～

### 【研究責任者】

所属：岡山大学病院 総合内科・総合診療科

職名：助教 氏名 徳増 一樹

### 【研究分担者】

所属：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 総合社会医科学講座

職名：講師 氏名 小比賀 美香子

### ( 1 ) 研究背景

日本の医療において、高齢化により疾病構造が複雑化し、幅広い診療を行うことができる総合内科専門医、総合診療専門医の重要性が高まっている。内科専攻医のプログラムでは、以下のように「総合内科専門医の医師像」が規定されている。

今日の国民が求める医師像である

1. 患者の身になって対応できる豊かな人間性
2. 患者の問題解決に貢献する能力
3. 世界基準に適う医学知識・技術
4. 独創的な研究能力を備える内科医

同様に、総合診療専攻医のプログラムでは、以下の資質・能力の獲得が目指されている。

1. 包括的統合アプローチ
2. 一般的な健康問題に対する診療能力
3. 患者中心の医療・ケア
4. 連携重視のマネジメント
5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ
6. 公益に資する職業規範
7. 多様な診療の場に対応する能力

このように総合内科医、総合診療医として目指すべき資質・能力は設定されているものの、これらが実際に到達できる現実性を持っているか、どのような具体的目標を設定し、目指すべき医師像に到達するかを解明した研究はない。本研究では、Activity theory という教育学的な理論を用い、研修目標の設定と実践を行う。この教育的介入の

効果を量的に評価し、そのプロセスを質的に評価する。

## （ 2 ） 研究目的

1. 教育的介入(Activity theory を用いた研修目標の設定と実践)の効果の検証
  - ・ 介入前後の専攻医自身で比較
  - ・ 介入前後の mini-CEX,P-MEX と、介入後の到達度評価
2. 教育的介入が専攻医の研修に対してどのように影響を及ぼすのかのプロセスの検証

以下の方法を用い、質的に評価する。

- ・ ポートフォリオ
- ・ Significant event analysis
- ・ 半構造化面接
- ・ フォーカスグループ

## （ 3 ） 研究の種類・デザイン

- ・ 岡山大学単独 介入研究。
- ・ 質的研究と量的研究の混合研究である。
- ・ 探索的研究：各専攻医の研修目標設定、研修内容設定は各自で異なっており、質的研究による探索が必要である。
- ・ 量的研究：技能や到達度の評価項目である mini-CEX, P-MEX, 360° 評価量的なものであり、量的研究としての解析が必要である。

## （ 4 ） 研究のアウトライン

- ・ 研究実施予定期間：2020年3月24日～2023年3月31日
- ・ 研究参加者への介入期間は、2020年4月から1年間とする。
- ・ 1年間の最後に量的評価を行う。
- ・ フォーカスグループと半構造化面接の質的データは、その都度 SCAT を用いて解析を行う。
- ・ 介入期間が終了後、量的項目については解析を行う。

## （ 5 ） 観察および検査項目

1. 研究参加者背景：研究参加者識別コード、性別、年齢、以前に行った研修内容
2. 軽微な侵襲および介入：フォーカスグループ(約1時間)、個人インタビュー(約1時間)
3. 軽微な侵襲および介入の状況：研究参加時にフォーカスグループ(約1時間)を行い、その後個別に半構造化面接(約1時間)を行い、個々の研修目標の設定とプロセスの

確認を行う。

4. 自他覚症状の確認：問診や身体的状態の把握等により確認する。
5. 有害事象と副作用の確認：心理・精神的負担をきたしていると考えられる場合は、精神科医・臨床心理士のサポートが受けられるように支援する。
6. フォーカスグループを用いたコンピテンシーの考察と共有(約1時間)：総合内科・総合診療科での研修目標と研修内容について、既存のコンピテンシーと照らし合わせながら、ディスカッションを行う。
7. 個人の研修目標の設定：総合内科・総合診療科での個人の研修目標を設定し、研修計画を立てる。
8. フォーカスグループを用いた振り返り(約1時間)：全体として総合内科・総合診療科での研修目標と研修内容についての振り返りを行う。コンピテンシーの現実性や到達度についてもディスカッションする。
9. インタビューでの個人振り返り(約1時間)：個人の研修目標と研修内容についての振り返りを行う
10. 評価(多職種による360°評価：約10分)：多職種による360°評価のみではなく、mini-CEXを用いた臨床技能評価、P-MEXを用いたプロフェッショナルとしての態度評価を行う。

## (6) 評価項目

### 1) 主要評価項目

#### <量的評価>

プロフェッショナルな態度と臨床技能

医師としてのプロフェッショナルな態度評価である P-MEX(9,10)を使用し、多職種による360°評価を行う。つまり、自分自身の自己評価のみではなく、上級医、同世代医師、看護師、社会福祉士等からの評価も行う(参考資料3)。

臨床技能については mini-CEX(11)を用い、上級医が評価を行う(参考資料2)。

以下については、添付資料参照

※ mini-CEX: mini-Clinical Evaluation Exercise

※ P-MEX: Professionalism Mini Evaluation Exercise

### 2) 副次評価項目

#### <質的評価>

教育的介入が専攻医の研修に対してどのように影響を及ぼすのかのプロセス評価

・ポートフォリオ

- ・ Significant Event Analysis
- ・ 半構造化面接
- ・ フォーカスグループ

#### ( 7 ) 目標症例数

- ・ 目標研究参加者：専攻医 5 名
- ・ 目標研究参加者：評価者 15 名(自己評価、上級医、他職種)

#### ( 8 ) 研究実施期間

2020 年 3 月 24 日～2023 年 3 月 31 日（登録締切 2021 年 3 月 31 日）

#### ( 9 ) インフォームド・コンセントを受ける手続

研究責任者、研究分担者は臨床研究審査専門委員会の承認が得られた説明文書を研究参加者に渡し、以下の内容を口頭で詳しく説明する。

臨床研究審査専門委員会で承認の得られた説明文書・同意文書を研究参加者に渡し、文書および口頭による十分な説明を行い、研究参加者の自由意思による同意を文書で得る。

研究参加者の同意に影響を及ぼすと考えられる有効性や安全性等の情報が得られたときや、研究参加者の同意に影響を及ぼすような実施計画等の変更が行われるときは、速やかに研究参加者に情報提供し、研究等に参加するか否かについて研究参加者の意思を予め確認するとともに、事前に臨床研究審査専門委員会の承認を得て説明文書・同意文書等の改訂を行い、研究参加者の再同意を得る。

#### ( 10 ) お問い合わせ

研究責任者：徳増一樹 岡山大学病院 総合内科・総合診療科

住所：〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目 5 番 1 号

電話番号(内線): 086-235-7342(内線：3485)、FAX 番号: 086-235-7345、

E-mail アドレス: tokumasu@okayama-u.ac.jp

緊急連絡先：岡山大学病院 総合内科・総合診療科 助教 徳増一樹

(平日) 電話：086-235-7342 8時30分～17時

(土日夜間) 電話：086-235-7151

住所：〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目 5 番 1 号